

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

授業科目名： **事業計画演習（野間口）【2023 春学期開講分】**

科目区分： 演習（発展）

必修・選択の別： 必修

配当年次： 2 年次

単位数： 4 単位（学習期間 2 学期）

担当教員： 野間口 隆郎

副担当教員： -

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

受講生が実際に起業を行うもしくは所属する企業において新規事業の発案を行うことを想定し、実社会にて通用する事業計画書を作成する。またその作業を通じて、アントレプレナーシップにおける様々なスキルを身に着ける。（※営利非営利は問わない。）計画の実施に必要な収支計画・資金調達計画なども設計を行い、中間および最終報告会において、教員および学外専門家からの評価・指導を頂く。

なお、所属する企業において新規事業の発案を行うことを選択する場合、「新規事業」は次のように定義する。

- ・多角化（新規市場×新規製品）：新規事業に該当
- ・新商品開発（既存市場×新規製品）：新規事業に該当
- ・新市場開拓（新規市場×既存製品）：新規事業に該当（状況により判断）
- ・市場浸透（既存市場×既存製品）：新規事業に該当しない

2. 学習目標

当大学院 MBA コースの集大成として、他の各授業で習得した知識や方法論も用いながら、事業計画を立案できるようにすること。またその事業の実現性について、精査・検証・強化をしていけるようになること。

3. 当ゼミの特色

担当教員はコンサルティング・ファーム出身の実務家教員であり、研究は戦略経営論が専門ですが、イノベーション論、オペレーション・マネジメント論、地域産業クラスター論、新興国マーケティング論、IT 戦略論、変革マネジメント論などの戦略経営論派生講義をおこなっています。顧客価値を実現するビジネス戦略を一緒に探求しましょう。

4. 求める受講者

業界の常識を逸脱する「バカな」「アホな」事を考えている人または考えたい人。

担当教員はコンサルティング・ファーム出身ですが、ロジカルシンキングが苦手な方を歓迎します。

5. 授業計画

1. オリエンテーション、事業テーマの選定（ディスカッション）
- 2～3. 「解決すべき課題」の深堀りによる事業案の骨子（キーコンセプト）検討（ディスカッション）
4. ビジョン/ミッション、ビジネスモデル、バリュープロポジションの取りまとめ（ディスカッション）
- 5～15. PEST 分析、3C 分析、STP 分析、クロス SWOT 分析等のフレームワーク活用及びターゲットヒアリング等の実地 調査を通じた市場性検討（ディスカッション）

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

16. 中間発表

17. 中間発表のフィードバックを踏まえた修正点・補強点の確認（ディスカッション）

18～20. マーケティングシナリオの詳細化、収支計画とそれに伴う資金調達計画の検討、事業展開シナリオに応じた組織体制の設計等（ディスカッション）

21～31. 事業計画書全体のブラッシュアップ（ディスカッション）

32. 最終報告

6. 受講上の留意点

各ゼミで提示されるスケジュールに沿ってご受講ください。

※中間報告を行わなかった場合、授業の後半課程に進むことはできません。翌学期に改めて中間報告を行って頂きます。

（1 学期留年することになります）

※以下のような場合には教員の判断の下、中間・最終の各報告会への参加を許可しない場合があります。

- ・最低限の形式基準を満たさない
 - ・教員の指導や助言を受けての改善がみられない
 - ・直前での無許可のテーマ変更
- 等

7. 成績評価基準

平常点（40％）＋中間報告（10％）＋最終報告（50％）

最終報告の評価項目は以下のとおり

- 1 ビジョン／理念／志 10％
- 2 ビジネスモデル・収益性 10％
- 3 市場性・スケーラビリティ 10％
- 4 競争優位性 10％
- 5 裏づけ調査による根拠 10％
- 6 必須要素の網羅と完成レベル 50％

※この科目は、以下の資料を期日厳守で提出頂くことが必須となります。

- ・プレゼン資料（Power point）
- ・事業計画書（Word）
- ・Before & After 表

8. 必読書籍・参考書籍

エリック・リース(著) リーン・スタートアップ 日経 BP (2012/4/12)

吉原 英樹 (著)「バカな」と「なるほど」 経営成功の決め手！ PHP 研究所 (2014/8/25)

リチャード・バスケル (著), ジェリー・スターニン (著) POSITIVE DEVIANCE(ポジティブデビアンス): 学習する組織に進化する問題解決アプローチ 東洋経済新報社 (2021/3/12)

9. その他

「事業計画演習」は年間で4単位となるため、【春・秋】もしくは【秋・春】の履修登録の際には、それぞれ2単位（1科目）として扱います。後半学期の履修登録の際には、既に2単位を登録済み（履修中）と考えますので、履修できる単

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

位数は 11 単位までとなります。